

計画作成年度	令和元年度
計画主体	加西市

加西市鳥獣被害防止計画書

<連絡先>

担当部署名 加西市地域振興部農政課
所在地 加西市北条町横尾1000
電話番号 0790-42-8741
FAX番号 0790-43-1802
メールアドレス nosei@city.kasai.lg.jp

1. 対象鳥獣の種類、被害防止計画の期間及び対象地域

対象鳥獣	ニホンジカ（以下、「シカ」という。）、イノシシ、アライグマ、ヌートリア、ハクビシン、ツキノワグマ、カラス、ドバト、カワウ
計画期間	令和2年度～令和4年度 (毎年4月1日から翌年3月31日まで)
対象地域	加西市

2. 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止に関する基本的な方針

(1) 被害の現状（平成30年度）

鳥獣の種類	被害の現状		
	品 目	被害数値	
		被害面積 (h a)	被害額(千円)
シカ	稲(水稻)	3. 20	3, 926
	麦(小麦)	2. 15	204
	合計	5. 35	4, 130
イノシシ	稲(水稻)	6. 80	8, 343
	麦(小麦)	2. 25	213
	イモ類	0. 62	208
	合計	9. 67	8, 764
アライグマ	果樹(ブドウ等)	0. 32	4, 294
	野菜(イチゴ・トウモロコシ等)	0. 15	1, 190
	合計	0. 47	5, 484
ヌートリア	稲(水稻)	0. 05	61
	野菜(キャベツ等)	0. 12	141
	合計	0. 17	202
ツキノワグマ	養蜂業者の巣箱 墓地、神社等への被害	目撃・痕跡情報7件	

(2) 被害の傾向

野生動物の生息状況及び被害の現状は、兵庫県森林動物研究センターによる調査研究のほか、兵庫県による狩猟者アンケート（出猟カレンダー等）や農会長に対して実施している野生動物の被害状況に関するアンケート調査、農業共済被害の申告状況を基に把握している。

対象鳥獣	(現状値) 平成30年度	(前回計画策定時) 平成27年度
		兵庫県森林動物研究センターが実施している鳥獣害アンケート調査による農会意識調査において、市内の回答のあった農会のうち被害が「大きい」もしくは「深刻」と回答した農会の割合
シカ	9. 0%	19. 6%
被害の傾向	北部地域を中心に、田植え後の水稻や発芽直後の麦苗、自家野菜への食害が発生している。	

	狩猟に加え有害捕獲を推進することにより個体管理を行うとともに、侵入防護柵の設置による被害対策が一定の効果을あげており、被害は減少傾向にある。	
イノシシ 被害の傾向	34.2%	35.5%
	<p>収穫前の水稲や麦、自家野菜への食害のほか、畦畔やため池の堤防の掘り起こしなど農業施設への被害が発生している。</p> <p>侵入防護柵の設置や有害捕獲を推進しているものの、繁殖力が高いことなどから被害申告は未だ高い数値となっている。</p> <p>また、10年前の調査（平成20年度）と平成30年度調査の被害発生農会数の割合を比較した場合、42.0%から70.5%と急激に増加している。生息地域の南下により、被害地域が拡大していることから、対策が急務である。</p>	
アライグマ 被害の傾向	11.1%	8.4%
	<p>アライグマは、特産のブドウやイチゴなどの果樹類や自家野菜の食害のほか、家屋の屋根裏などで営巣し生活環境被害を発生させ、被害範囲は市内全域に及んでいる。</p>	
ヌートリア 被害の傾向	5.0%	2.8%
	<p>ヌートリアは、田植え後の水稲や自家野菜への食害のほか、ため池の堤防に穴をあけ営巣するなど、農業施設への被害が発生している。</p>	
ツキノワグマ	平成30年度に、北部地域を中心に養蜂の巣箱の破壊や、神社の祠の破壊、墓石の倒壊などの被害が発生した。	
その他	カラスやハクビシン（外来種）による特産のイチゴやぶどうの食害、ドバトやカワウによる糞害が発生している。	

(3) 被害の軽減目標（面積・被害額）

	現状値（平成30年度）		目標値（令和4年度）	
	面積(ha)	被害額(千円)	面積(ha)	被害額(千円)
①シカ	5.35	4,130	4.54	3,510
②イノシシ	9.67	8,764	7.11	7,886
③アライグマによる被害程度が「深刻」及び「大きい」の回答割合	11.1%		7.0%	
④ヌートリアによる被害程度が「深刻」及び「大きい」の回答割合	5.0%		2.0%	
⑤ツキノワグマ	目撃・痕跡情報7件		目撃・痕跡情報なし	

※①②は加西市農政課による聞き取り調査および農業共済被害申告書を基に算出

※③④は、兵庫県森林動物研究センターが毎年実施する「鳥獣被害アンケート」の集計結果

※⑤は、加西市農政課による聞き取り調査の結果

(4) 従来講じてきた被害防止対策

	従来講じてきた被害防止対策	課 題
捕獲等に 関する 取組	<p>○捕獲体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県猟友会加西支部と委託契約し有害駆除を実施 <p>平成30年度実績</p> <p>シカ個体群管理事業 銃器(4月)</p> <p>有害鳥獣駆除専任班 銃器(5月～3月)</p> <p>わなによる有害捕獲(6月～8月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規狩猟免許取得者の増(取得経費の半額を補助) 	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲活動に従事する猟友会員の高齢化や減少(特に一種、二種免許所持者)しており、若手会員の確保及び育成 ・被害農家の猟友会会員への捕獲依存の高まり ・市境付近での銃猟での有害駆除(猟犬の使用や半矢となった獲物が他市町に逃げた場合、回収が困難になる点)
	<p>○捕獲機材導入及び取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猟友会への技適ドッグマーカ―及び業務用無線機、狩猟者端末、ナビ端末の貸与 ・猟友会への大型動物捕獲用箱罟の貸与 ・猟友会や市民へ小動物捕獲用の箱わなを貸与し有害駆除(アライグマ・ヌートリア)を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来設置している箱罟やくくり罟では捕獲効率が低いことから、捕獲効率を一層向上させるため ICT やアニマルセンサーを活用した大型の捕獲檻や囲い罟の導入 ・小動物捕獲用の箱罟の更新 <p>平成30年度 8基</p> <p>平成29年度 56基</p> <p>平成28年度 0基</p>
	<p>○侵入防護柵の設置・管理体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直近3カ年の設置状況 <p>平成28年度 金網柵 14, 109m</p> <p>平成29年度 金網柵 10, 410m</p> <p>平成30年度 金網柵 10, 015m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置管理体制 <p>協議会が防護柵資材を集落に提供し、設置、維持管理を集落が実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・金網柵の設置により、シカによる被害は減少傾向にあるものの、イノシシによる被害は被害範囲の拡大にともない増加傾向にあることから、金網柵だけではなく電気柵と併用した防護柵整備が課題 ・集落の少子高齢化により設置、維持管理人材の不足
関する 取組	<p>○緩衝帯の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野生動物共生林整備事業を活用し、人と野生動物の棲み分けゾーンの設置や野生動物の生息地となる森林の整備、公益的機能が低下した森林の機能回復 <p>平成30年度実績</p> <p>野生動物共生林整備事業1件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集落の少子高齢化による整備人材の不足 ・多数にわたる地権者及び不在所有者の同意の取り付けなどの地元調整 ・所有境界が不明瞭な点
	<p>○追上げ・追払い活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麦の発芽時期や水稻収穫前に、シカやイノシシの食害が集中することから、轟音玉を利用した追払いの実施 ・ツキノワグマ出没時の轟音玉による追払いの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・集落が主体となって行う効果的な追払い方法の普及 ・煙火消費保安手帳所持者の育成 ・平成30年度にツキノワグマが出没(目撃・痕跡情報:7件) <p>住民の危機感が増幅されている</p>

<p>○放任果樹の除去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集落内の点検を行い、放任果樹の収穫や伐採を行うよう指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集落内の少子高齢化による収穫、伐採等の人材不足
<p>○鳥獣の習性・被害防止技術等の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要望する農会を対象に、鳥獣被害対策講習会を開催（管理共済課） ・ 加西市アライグマ防除実施計画・加西市ヌートリア防除実施計画等に基づき、特定外来生物に対する普及啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講習会を開催する場合の講師と受講者のマッチング

（５）今後の取組方針

<p>○捕獲体制の整備取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 兵庫県猟友会加西支部と連携し捕獲の推進を図る ・ 捕獲活動従事者の確保、育成 ・ 効率的な捕獲を推進するため、ICT やアニマルセンサーを活用した囲い罠や捕獲檻の導入 <p>○被害防除に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 侵入防護柵の新規設置 ・ 侵入防護柵の管理、機能維持のための手法等の普及啓発、指導 ・ 電気柵等の効果的な設置方法及び安全対策等の普及啓発、指導 <p>○情報収集及び情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 兵庫県森林動物研究センターとの連携による対象鳥獣の生息動向の把握、住民意識、被害状況に関する情報収集と情報提供 ・ 農業共済との連携による被害状況の把握 <p>○獣害に強い集落づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集落内の点検による現状把握 ・ 侵入防護柵の整備と併せ野生動物共生林事業等を活用した緩衝帯の整備 ・ 放任果樹対策などの集落環境整備のための技術的指導等 ・ 集落が主体となった追上げ・追払い活動の実施 <p>○鳥獣被害対策実施隊の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年4月に鳥獣被害対策実施隊を設置済みであり、有害鳥獣の捕獲等、有害鳥獣被害防止柵の設置その他の被害防止計画に基づく被害防止施策を適切に実施するため、隊員の狩猟免許取得率の向上を図る

3. 対象鳥獣の捕獲等に関する事項

（１）対象鳥獣の捕獲体制

<p>対象鳥獣による農作物被害を受けた集落からの要望に基づき、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律や兵庫県第12次鳥獣保護管理事業計画、市が定める許可基準に照らし、兵庫県猟友会加西支部へ委託契約を行い、有害捕獲を実施して被害防止に努める。</p>

(2) その他捕獲に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
令和2年度～ 令和4年度	シカ・イノシシ	・捕獲に従事する者の確保・育成のため、新規狩猟免許取得者の取得経費の半額を補助 ・ICTを活用した捕獲檻やアニマルセンサーを導入し、捕獲効率の向上を図る
	アライグマ・ ヌートリア	・猟友会員、市民への捕獲用檻の貸出 ・捕獲用箱罠の更新
	ツキノワグマ	・出没状況に応じ、クマ用捕獲檻の導入

(3) 対象鳥獣の捕獲計画

捕獲計画数等の設定の考え方			
① シカ 兵庫県が策定する「第2期シカ管理計画 平成31年度事業実施計画」によると県全域における平成31年度の捕獲目標は46,000頭とされており、本市の捕獲目標は狩猟捕獲を併せて332頭と定められている。本市では、この数値の20%を有害捕獲の目標とし、令和2年度から令和4年度については、65頭/年を目標頭数と設定する。			
② イノシシ 兵庫県が策定する「第2期イノシシ管理計画 平成31年度事業実施計画」によるとイノシシは個体数変動が激しい動物であり、自然増加率や生息個体数の推定錯誤が大きく、適切な野外調査手法もないため、年間捕獲目標は設定されていない。本市では、生息域が急激に南下しており、被害（有害鳥獣駆除依頼書等）状況等を考慮すると、令和2年度から令和4年度の有害捕獲の目標については、直近3カ年の平均捕獲頭数比30%増の105頭/年と設定する。			
③ アライグマ、ヌートリア アライグマ、ヌートリアについては、特定外来生物であり、地域からの根絶を目標と設定する。			
有害捕獲実績			
対象鳥獣	捕獲計画数等		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
シカ	42頭	65頭	56頭
イノシシ	80頭	74頭	90頭
アライグマ	173頭	105頭	162頭
ヌートリア	112頭	162頭	111頭
カラス	118羽	192羽	92羽
ツキノワグマ	捕獲実績なし		

有害捕獲計画			
対象鳥獣	捕獲数等		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
シカ	65頭	65頭	65頭
イノシシ	105頭	105頭	105頭
アライグマ、ヌートリア	地域から根絶を目指す		
カラス	被害地域周辺において有害捕獲を実施		
ツキノワグマ	危険個体について有害捕獲を実施		

捕獲等の取組内容
<p>年間を通じてシカ、イノシシによる農作物等への被害が発生していることから、狩猟期以外に被害が発生した場合は、被害集落からの依頼に基づき、被害調査を実施のうえ、兵庫県猟友会加西支部に委託して、シカ個体群管理事業（銃器）、有害鳥獣駆除専任班（銃器）による駆除を行うほか、銃器による駆除が困難な夏季や住宅地が隣接する場所等では、わなによる駆除を実施する。</p> <p>また、アライグマ、ヌートリアについては、市民や猟友会員に小動物捕獲用の箱罠を貸出し捕獲の推進を図り、地域からの根絶を目指す。</p> <p>ツキノワグマについては、兵庫県の「ツキノワグマ出没対応マニュアル」に基づき、轟音玉を利用した追い払いを行うが、頻繁に出没するなど住民に「危機感」が増幅された場合は、有害捕獲を行う。</p>

(4) 許可権限委譲事項

なし

4. 防護柵の設置その他の対象鳥獣の捕獲以外の被害防止施策に関する事項

(1) 侵入防護柵の整備計画

シカ、イノシシを対象とした侵入防護柵（金網柵）は平成30年度までに約200km整備が完了し、一定の被害防止効果がみられている。今後は、捕獲に併せて下記計画により侵入防護柵の整備を推進する。

対象鳥獣	整備内容		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
シカ・イノシシ	金網柵7,000m 北条町小谷、三口町、繁昌町、田原町、南網引町、常吉町、別府西町、玉丘町、甲和泉町、大内町、鴨谷町	金網柵10,000m 北条町小谷、三口町、別府西町、玉丘町、鴨谷町、岸呂町	金網柵10,000m 三口町、玉丘町、鴨谷町、西長町、山下町、岸呂町
ツキノワグマ	出没が多発した場合は、電気柵等を設置し出没防止を図る。		

(2) その他被害防止に関する取組

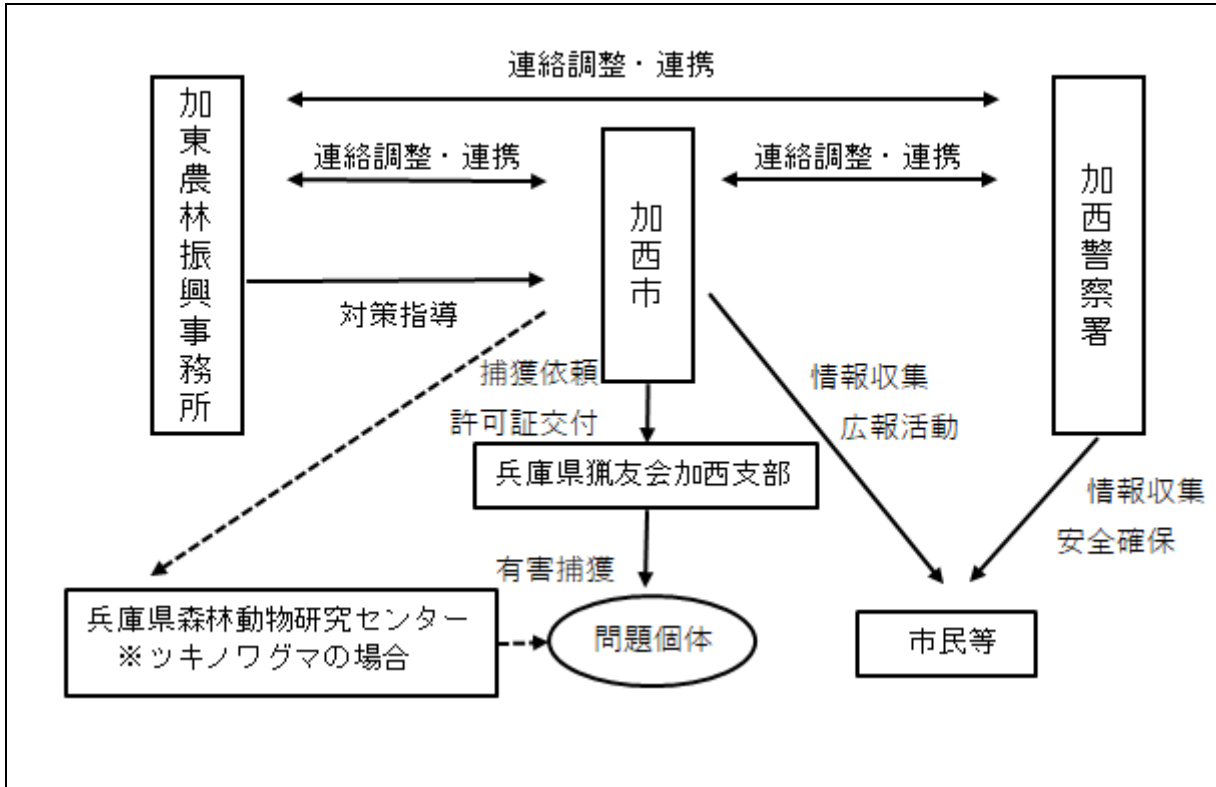
年度	対象鳥獣	取組内容
2年度～ 令和4年度	シカ・ イノシシ	<p>① 獣害に強い集落づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置済みの防護柵の管理について、集落で適切に管理を行う。 また、設置後、耐用年数が経過し劣化が著しい侵入防護柵については、適時更新を行う ・集落点検・集落診断（里地里山の整備、耕作放棄地対策等の指導助言） ・侵入防護柵と一体整備も含め、野生動物共生林事業等を活用した緩衝帯整備及び放任果樹対策など集落環境整備のための技術的・経済的支援及び指導 <p>② 電気柵等の効果的な設置方法及び安全対策等の普及啓発・指導</p>
	アライグマ・ ヌートリア	<ul style="list-style-type: none"> ・特定外来生物による被害対策のための研修会の開催 ・被害防止のための市民への技術的指導
	全般	<p>① 集落内の放任果樹の除去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に対し放任果樹が有害鳥獣の誘因物となることを周知し、適切な管理を促す。 ・集落が主体となった有害鳥獣の追い払いの推進 （ツキノワグマについては、兵庫県の「ツキノワグマ出没対応マニュアル」に基づき対応し、人馴れが進んだ場合は、関係機関と連携のうえ、追い払いを実施。）

5. 対象鳥獣による住民の生命、身体又は財産に係る被害が生じ、又は生じるおそれがある場合の対処に関する事項

(1) 関係機関等の役割

関係機関等の名称	役割
加西市	情報収集、連絡調整、広報活動、有害捕獲の依頼等
兵庫県猟友会加西支部	有害捕獲の実施
兵庫県加東農林振興事務所	連絡調整、対策指導
兵庫県森林動物研究センター	捕獲の実施（麻酔銃によるものに限る）
兵庫県加西警察署	情報収集、現場付近での安全確保

(2) 緊急時の連絡体制



6. 捕獲等をした対象鳥獣の処理に関する事項

通常、捕獲された対象鳥獣においては、学術研究への利活用を行っていく他、猟友会等において肉用へ供するなどする。また、そういった処理が不可能な場合・部位等は、処理施設における焼却等により処理する（概ね、兵庫県第12次鳥獣保護管理事業計画書・加西市アライグマ防除実施計画・加西市ヌートリア防除実施計画等に準ずることとする）。

7. 捕獲等をした対象鳥獣の食品としての利用等その有効な利用に関する事項

今後、検討を行う。

8. 被害防止施策の実施体制に関する事項

(1) 協議会に関する事項

協議会の名称	加西市鳥獣害防止協議会
--------	-------------

構成機関の名称	役割
加西市農政課	協議会の庶務、連絡調整 被害状況の調査、被害対策指導 捕獲従事者の人材確保、育成
兵庫県猟友会加西支部	対象鳥獣の有害捕獲
兵庫県農業共済組合	被害状況の調査
兵庫県加西農業改良普及センター	被害対策に係る営農指導

加西市農会長会	被害対策の実践
---------	---------

(2) 関係機関に関する事項

関係機関の名称	役割
兵庫県加東農林振興事務所	情報提供、指導助言など 野生動物共生林整備等の森林整備 生息地（森林）管理の指導、支援
兵庫県森林動物研究センター	指導助言、情報提供など

(3) 鳥獣被害対策実施隊に関する事項

平成27年4月に、職員による鳥獣被害対策実施隊を設置。令和元年度現在、隊員は6名。柵の設置、維持管理方法の指導、被害農家等からの相談対応、被害状況の調査、被害対策方法の指導、集落の要請による追い払いなどの被害防除活動を行っている。

(4) その他被害防止施策の実施体制に関する事項

特記事項なし

9. その他被害防止施策の実施に関し必要な事項

1から8までのほか、被害防止施策の実施に関し必要な事項については必要に応じ別に定めることとする。

加西市鳥獣害防止協議会規約

(目的)

第1条 加西市鳥獣害防止協議会は、関係者が相互に協力して市内の有害鳥獣を適切に管理することをもって地域農林業の振興および加西市の活性化に寄与することを目的とする。

(名称)

第2条 この団体を加西市鳥獣害防止協議会（以下「協議会」）と称する。

(組織等)

第3条 この協議会は、別紙1に掲げる協議会の趣旨に賛同する団体等により構成する。

- 2 協議会の役員は構成団体の代表者をもって組織し、会長1名、副会長1名、監事1名、会員若干名を置く。
- 3 前項の役員は第1項の構成員の互選による。
- 4 会長は、協議会業務を総括し、協議会の議長を兼ね協議会の審議を総括する。
- 5 副会長は、会長を補佐するとともに、会長に事故等があった場合において、会長職務を代行する。
- 6 監事は協議会の会計監査を行う。
- 7 この協議会に新たに構成者として加入する場合、協議会の承認を得るものとする。
- 8 会長が必要と認める場合は、構成員以外の者を協議会等に出席させることができる。
- 9 役員および構成員の任期は平成20年8月7日から、協議会終了までの期間とする。なお、各構成団体の代表者でなくなるなど、途中の転退任にあたっては、各構成団体における後任者をもって充当することを原則とし、これによりがたい場合は会長の裁定による。

第4条 この協議会の事務局は加西市地域振興部農政課に置くものとする。

- 2 事務局の構成員に事務局長1名を置く。
- 3 前項の構成員は会長が指名することとする。
- 4 事務局は協議会の事務全般を行うこととする。
- 5 事務局長は事務局の総括を行うこととする。
- 6 事務局の構成員の任期は平成20年8月7日から、協議会終了までの期間とする。なお、途中の転退任にあたっては会長が再度指名することとする。

(事業)

第5条 この協議会は有害鳥獣を適切に管理するための各種対策および普及啓発活動を行う。

(会議)

第6条 この協議会の会議は、必要に応じ会長が招集し、役員のおよ半数の出席をもって成立する。表決は出席者の過半数をもって決する。

(経費)

第7条 この協議会の経費は、各種補助金、その他の寄付金及び協議会の収入をもって充てる。特に、特定の地域において事業を実施する際は、その事業に対してその地域より1/2から1/4程度の事業負担金を拠出することとする。

(会計年度)

第8条 この協議会の会計年度は4月1日から始まり翌年3月31日までとする。

(事業計画および収支予算)

第9条 協議会の事業計画および収支予算は、会長が作成し、事業開始前に協議会の承認をえることとする。

(監査等)

第10条 会長は毎事業年度終了後、次回協議会までに次の号に掲げる書類を作成し、監事に提出し、その監査を受けなければならない。

(1) 事業報告書

(2) 収支計算書

2 監事は、前項の書類を受領したときは、これを監査し、監査報告書を作成して会長に報告するとともに会長はその監査報告書を次回協議会に提出しなければならない。

3 会長は第1項各号に掲げる書類及び前項の監査報告書について、協議会の承認を得た後、これを第4条の事務局に備え付けることとする。

(規約の変更)

第11条 この規約を変更する場合は、協議会での承認を受けなければならない。

(雑則)

第12条 この規約に定めるもののほか、本規約に定めのない事項については協議会の協議によるものとする。

付則

(施行期日)

この規約は平成20年8月7日より施行する。ただし、平成20年7月1日より協議会が結成されるまで仮施行することとする。

別紙 1

団 体 名	役 職	備 考
加 西 市	地域振興部長	会長
兵庫県猟友会加西支部	支部長	副会長
兵庫県農業共済組合加西事務所	所長	監事
加西市農会長会	会長	
加西農業改良普及センター	加西市担当	

兵庫みらい農協	加西営農生活センター	アドバイザー
---------	------------	--------